

# ゲートウェイの冗長化による セキュリティレベル強化と 運用の効率化を実現

東京大学大学院新領域創成科学研究科のゲートウェイに設置された冗長構成のUTMのリプレイスにおいて機能を損なうことなく運用の効率化を実現。

1998年に新設された、東京大学大学院新領域創成科学研究科は、学際性をさらに推し進めた「学融合」という概念で新しい学問領域の創出を目指し、約560名の教職員と約1,600名の大学院学生によるオープンな教育環境を提供しています。

## ネットワーク・セキュリティ課題

UTMのライセンス更新を迎えるにあたり、従来と同等機能とスペックを有するUTMを検討し、既存ネットワーク構成の大幅な変更を回避しつつ、UTMベンダーの変更によりサポート体制強化とコストダウンを実現する。

## ソリューション・対策

教職員、大学院学生を含む約2,160ユーザーの利用するゲートウェイに対し、必要条件を満たすUTM機能とスループットなどの要素から機器選定を行い、SonicWall NSspシリーズによる冗長構成を選択する。従来のネットワークをよりシンプルな構成にすることで、学内の複数ネットワークの効率的な運用を可能にした。

## 導入後の結果

UTMベンダー変更による機能や運用面の影響は皆無であった。SonicWallの日本人サポートスタッフに直接サポートを受けられることから、技術的な不安が解消された。また、SonicWallのHA構成時は、スタンバイ機に対する追加ライセンスの購入が不要なこともコスト面のメリットだった。

## 導入メリット

- SonicWall UTMの冗長構成による一元管理
- メーカー直の日本人による導入・技術サポート
- HAスタンバイ機のライセンス費用負担なし

## Solutions at a glance

- SonicWall NSspシリーズ (HA構成)
- Firewall、その他各種UTM機能



東京大学 大学院  
新領域創成科学研究科

“SonicWallのUTM導入により、ネットワークのシンプル化による運用負担の軽減と、従来と遜色のないセキュリティレベル維持を実現することができました。HA構成のライセンスによるコストダウンもメリットとなりました。”

東京大学大学院新領域創成科学研究科  
情報システム室 水谷 健太郎

## カスタマープロフィール

法人名 国立大学法人東京大学大学院新領域創成科学研究科

業種 教育

国 日本

ユーザー 教職員約560名、大学院学生約1,600名

Website <https://www.k.u-tokyo.ac.jp/>